

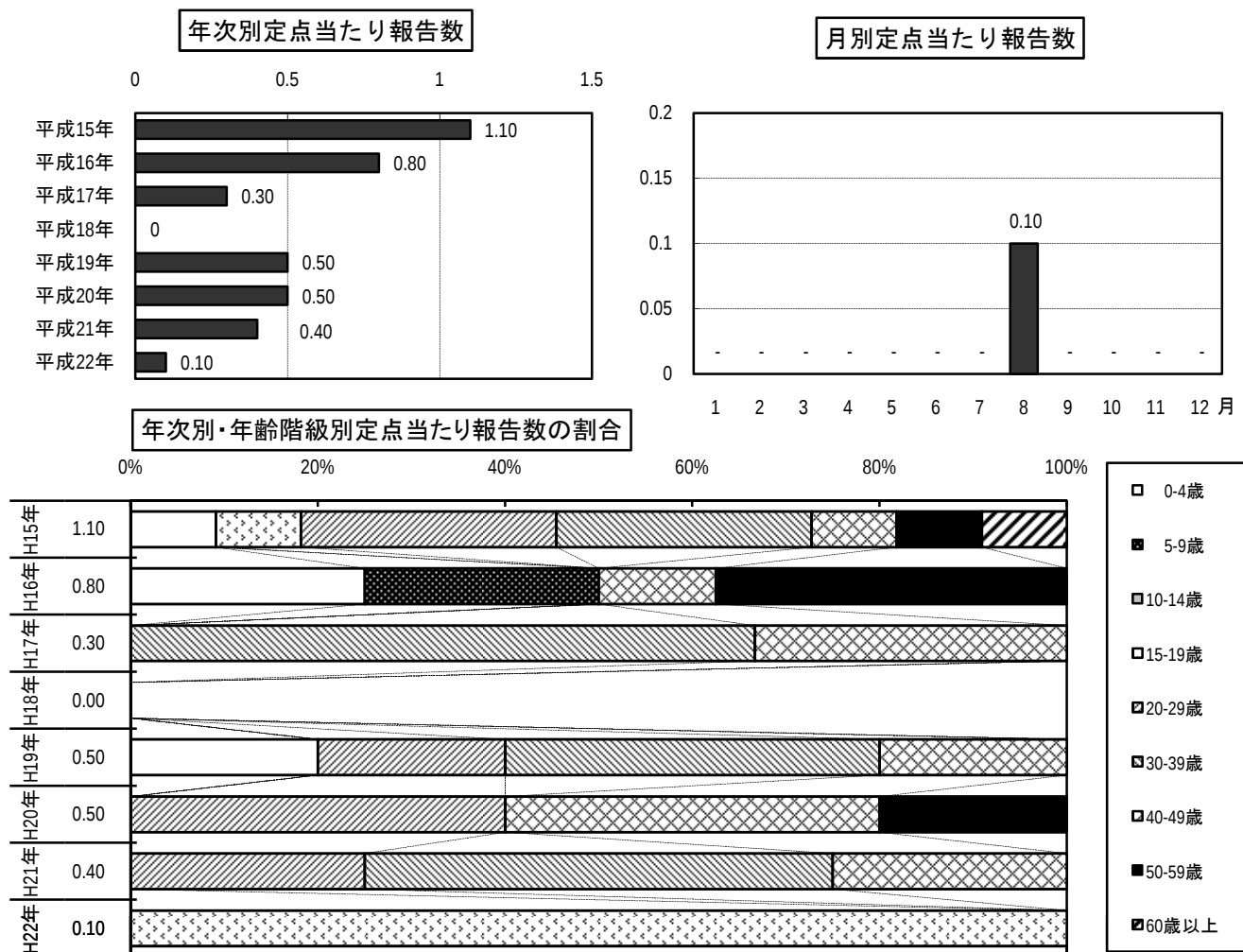
ウ 眼科定点

(ア) 急性出血性結膜炎

平成 22 年の年間報告数は 1 例、定点当たり報告数は 0.10、定点当たり報告数の過去 5 年平均値との比は 0.29、前年比は 0.25 であった。

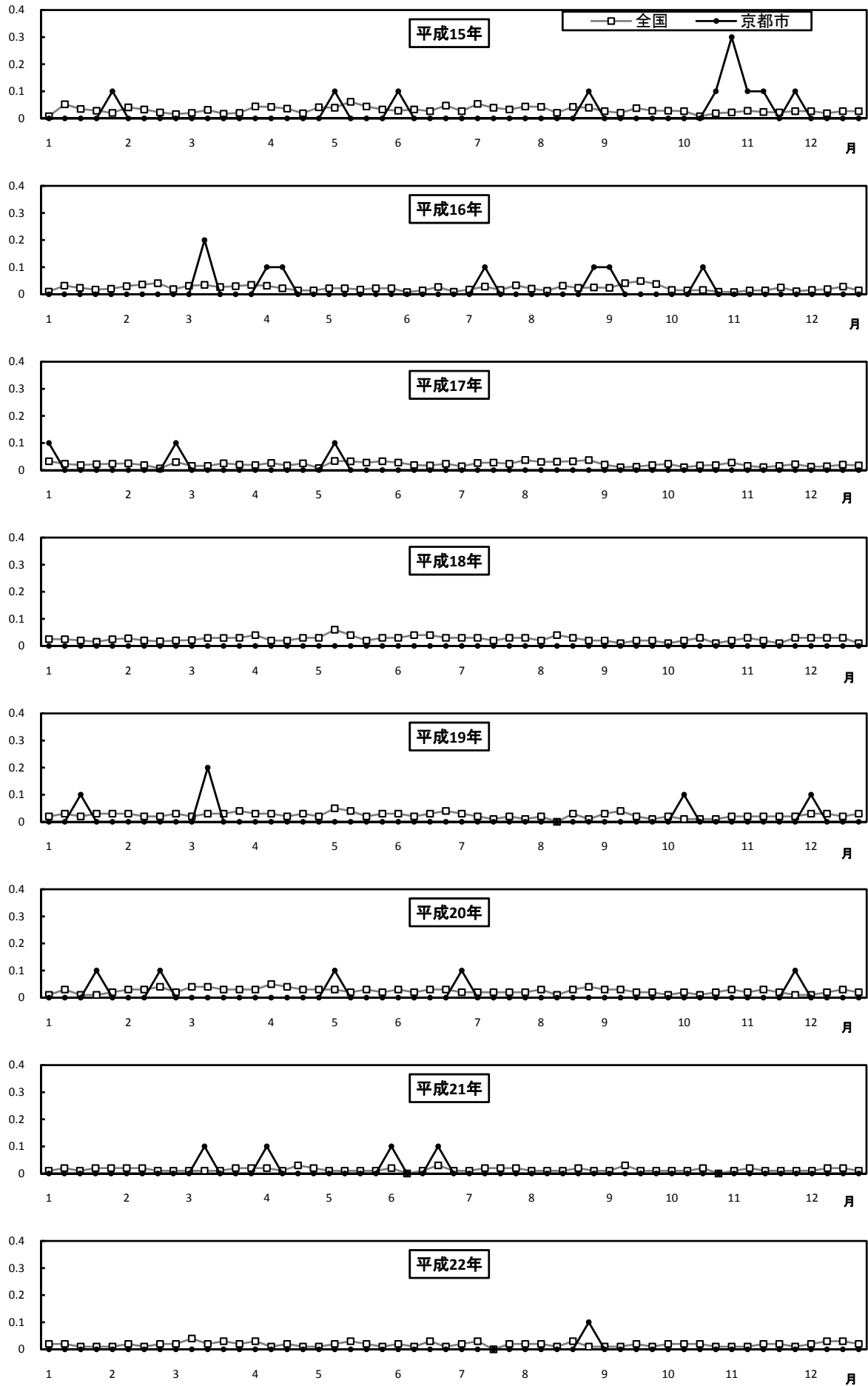
過去7年間の年間定点当たり報告数(0~1.10)と比べると、平成18年に次いで少なかった。

年齢階級別では、15～19 歳が 1 例であった。



急性出血性結膜炎

週別定点当たり報告数の推移

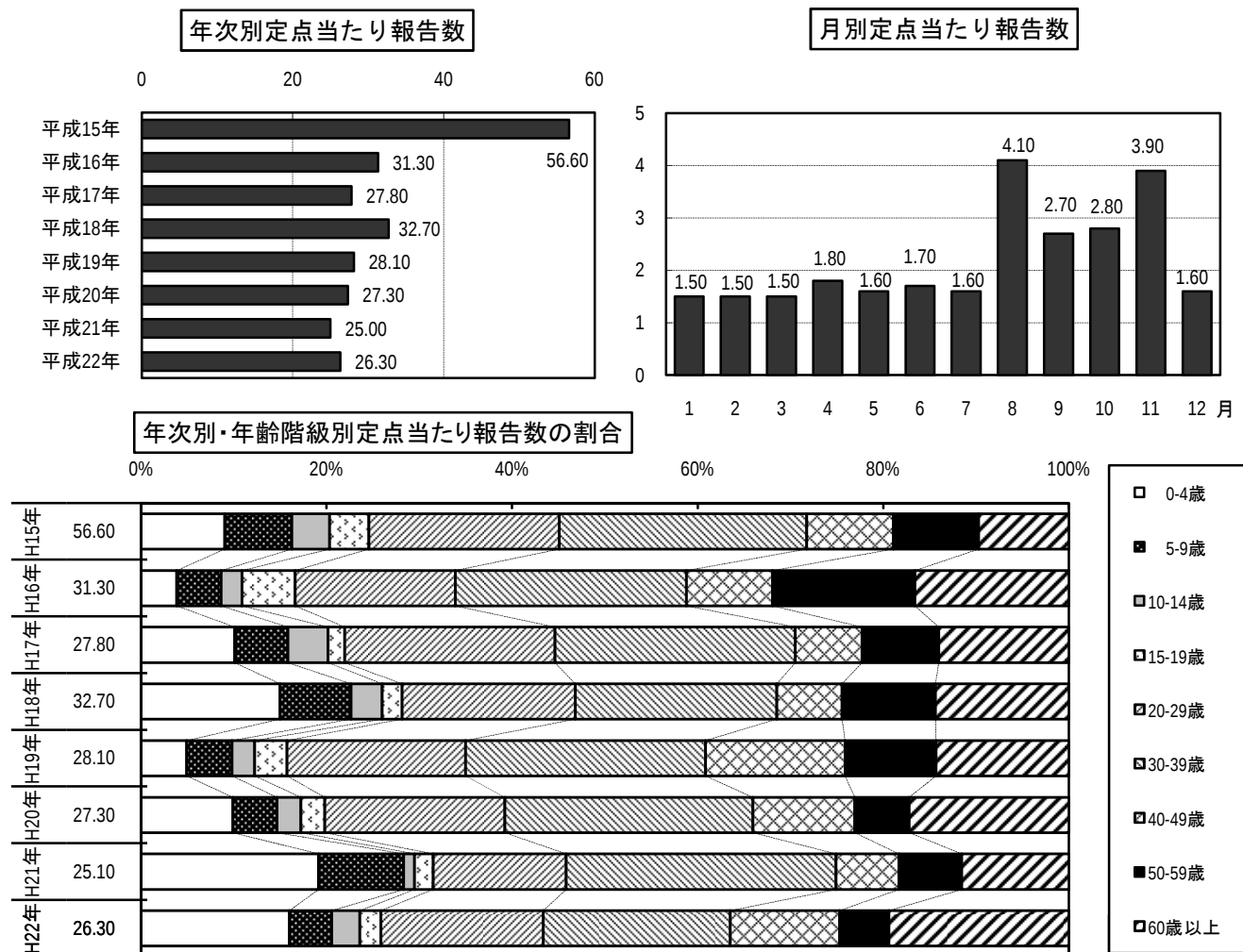


(イ) 流行性角結膜炎

平成 22 年の年間報告数は 263 例、定点当たり報告数は 26.30、定点当たり報告数の過去 5 年平均値との比は 0.93、前年比は 1.05 であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数（25.00～56.60）と比べると、平成21年に次いで少なかった。

年齢階級別割合が高かったのは、30～39 歳（20.2%）、20～29 歳（17.5%）であった。



流行性角結膜炎

週別定点当たり報告数の推移

